

- 問1 ベトナム、タイ、インドネシア、マレーシアといった東南アジア諸国では、2000年から2018年にかけて進出する日本企業の数が大幅に増加しました。このような動きが活発化した背景として、日本企業の目的を説明したものとして最も適切なものはどれか。 (2022年 鳥取県公立入試 類似)
1. 原材料のすべてを日本から輸入し、加工後に全量を日本へ逆輸入する体制を維持するため
 2. ASEAN諸国での関税が撤廃されたため、日本国内の全工場を閉鎖して海外移転を完了させるため
 3. 現地の伝統的な農業技術を導入し、日本の製造業を第1次産業へと転換するため
 4. 若くて豊富な労働力による生産拠点の確保や、経済成長に伴う現地市場の拡大を期待したため
- 問2 世界の諸地域の区分において、「中央アジア」と呼ばれる地域の位置関係を正しく説明しているものはどれですか。 (2022年 岡山県公立入試 類似)
1. ユーラシア大陸の西端に位置し、東経20度よりも西側の範囲にある
 2. アフリカ大陸の北東部に位置し、地中海と紅海に挟まれた範囲にある
 3. 広大なユーラシア大陸の内陸部に位置し、経度では東経60度よりも東側の範囲にある
 4. 北アメリカ大陸の中央部に位置し、西経100度付近の範囲にある
- 問3 インドネシアの首都ジャカルタでは、2000年に約800万人であった人口が2020年には約1100万人弱まで増加し、さらに2030年には1200万人を超えると予測されています。このように都市への人口集中が急速に進む一方で、道路網などの都市インフラの整備が追いつかないことで発生している、生活に大きな影響を及ぼす社会現象を何と呼びますか。 (2025年 和歌山県公立入試 類似)
1. 居住環境の改善を目的としたドーナツ化現象
 2. 若年層の流出による深刻な過疎化
 3. 伝統的な市場の衰退によるシャッター通り化
 4. 急激な人口増加にともなう交通渋滞
- 問4 西アジアのアラブ首長国連邦に位置するドバイなど、一部の産油国では、国家の経済構造を大きく変化させる取り組みを行っています。輸出総額における原油の割合が低下し、観光業や商業、金融業が成長している背景にある考え方として、最も適切なものはどれですか。 (2020年 静岡県公立入試 類似)
1. 輸入代替工業化を推進することで、工業製品の輸入を停止し、国内市場のみで経済を完結させる。
 2. 資源ナショナリズムの考えに基づき、自国の資源を保護するために外国資本の流入を全面的に禁止する。
 3. 地球温暖化対策として石油の採掘を法律で禁止し、伝統的な牧畜を中心とした社会に回帰する。
 4. 将来の原油の枯渇や価格変動のリスクに備え、特定の資源への依存から脱却して経済の多角化を図る。
- 問5 赤道直下に位置するインドネシアでは、年平均気温が27度を超え、年間の降水量が2600ミリメートルを上回るような気候が一般的です。このような高温多雨な自然環境に対応するために工夫された、伝統的な家屋の構造とその理由について述べたものとして、最も適切なものはどれですか。 (2023年 佐賀県公立入試 類似)
1. 厚い土壁で家を囲うことで外の熱気を遮断し、窓を小さくすることで直射日光が入らないようにしている。
 2. 床を高くすることで地面からの湿気を防ぎ、風通しをよくすることで室内の熱を逃がすようにしている。
 3. 屋根を平らにすることで、急激に降る激しい雨を貯水タンクに集め、生活用水として活用している。
 4. 地下に部屋を作ることで、一年中変化の少ない地中の温度を利用し、安定した涼しさを確保している。
- 問6 東南アジアに位置するある国は、国土面積が約33万平方キロメートルで日本の面積（約38万平方キロメートル）に近く、日本への主要な輸出品目として衣服類が大きな割合を占めているという特徴があります。この国を答えなさい。 (2020年 和歌山県公立入試 類似)
1. フィリピン
 2. タイ
 3. ベトナム
 4. インドネシア
- 問7 世界各国の国内総生産（GDP）と輸出額の関係を示した資料において、中国の位置付けを説明したものとして正しいものはどれですか。 (2022年 鳥取県公立入試 類似)
1. 国内総生産はアメリカ合衆国に次ぐ規模であり、輸出額も世界トップクラスである。
 2. 国内総生産は日本やドイツを下回っているが、輸出額のみ突出して世界第1位である。
 3. 国内総生産は世界第2位であるが、輸出額に関しては新興国の中位レベルにとどまっている。
 4. 輸出額はASEAN諸国の合計よりも少ないが、広大な国土により国内総生産は世界最大である。
- 問8 インドの土地利用と産業の特色について述べた文として、背景や実態を正しく説明しているものはどれですか。 (2019年 埼玉県公立入試 類似)
1. 広大な農地面積の中でも耕地・樹園地の割合が極めて高く、主食となる米や小麦、茶などの生産が盛んに行われている。
 2. 近年は急速な工業化が進んだことで農地が工場用地に転換され、耕地・樹園地の面積は主要国で最小となっている。
 3. 乾燥帯が広がる国土の特性を反映し、農地面積のほとんどが羊や牛を育てるための牧草地として利用されている。
 4. 環境保護の観点から開発が厳しく制限されており、農地面積よりも森林面積の方がはるかに広い割合を占めている。
- 問9 インドの食文化と宗教との関わりについて、人口に占める割合が高い宗教の組み合わせと、その教えによる食習慣への影響を正しく述べたものはどれですか。 (2025年 鹿児島県公立入試 類似)
1. イスラム教とシク教が主要な宗教であり、魚肉を食べる習慣が全く存在しない。
 2. 仏教とキリスト教が主要な宗教であり、精進料理のような菜食主義が徹底されている。
 3. ヒンドゥー教と仏教が主要な宗教であり、すべての肉類を食べることが法律で禁じられている。
 4. ヒンドゥー教とイスラム教が主要な宗教であり、それぞれ牛や豚の摂取が制限されている。
- 問10 サウジアラビアが位置するアラビア半島の自然環境と気候について、正しい組み合わせはどれですか。 (2025年 長野県公立入試 類似)
1. インドシナ半島 – 熱帯（熱帯雨林気候）
 2. イタリア半島 – 温帯（地中海性気候）
 3. スカンジナビア半島 – 亜寒帯（冷帯湿潤気候）
 4. アラビア半島 – 乾燥帯（砂漠気候）
- 問11 世界の小麦と米の生産状況について、2014年の統計資料に基づいた説明として最も適切なものはどれか選びなさい。 (2018年 大阪府公立入試 類似)
1. 米の生産量で上位4位に入るインドネシアやバングラデシュは、同様に小麦の生産量においても世界トップクラスである。
 2. 小麦の生産量で17.3%、米の生産量で27.9%を占めていずれも世界1位である中国は、巨大な人口を抱えるため国内消費量も多い。
 3. 小麦の生産量において第3位のロシアや第4位のアメリカ合衆国は、米の生産量においても世界1位または2位を占めている。
 4. 乾燥した気候に適した小麦はオーストラリアやフランスが世界1位と2位を占め、温暖湿潤な気候に適した米は中国とインドが上位を占める。
- 問12 西アジアに位置するサウジアラビアの地理的・経済的特徴について述べた文として、正しいものはどれですか。 (2025年 長野県公立入試 類似)
1. アフリカ大陸の北部に位置し、ナイル川流域を中心に古代文明が栄えた歴史を持つ。
 2. 広大な砂漠が広がるアラビア半島に位置し、豊富な石油資源を背景に世界有数の産油国となっている。
 3. 東南アジアの島国であり、熱帯雨林の気候を活かした天然ゴムの生産が世界一である。
 4. 南アジアのインド亜大陸に位置し、ヒマラヤ山脈からの豊かな水資源を利用した稲作が盛んである。